

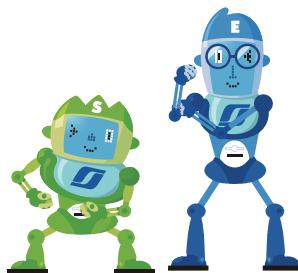
第18期 中期

イーサポートリンク株式会社

# 株主通信

2014年12月1日～2015年5月31日

安全と安心。  
ハートで守ります、  
ハートで届けます。



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
第18期中間「株主通信」をお届けするにあたり謹んでご挨拶申し上げます。

我が国の経済は、個人消費や設備投資は緩やかな回復基調にあり、企業収益も改善傾向である一方で、少子化は益々進み、国内消費の構造に変化が推測されています。

このような状況のもと、第18期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主にシステム事業における運用保守費用や減価償却費の減少などにより、売上高22億54百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益3億31百万円（同6.9%減）、経常利益3億51百万円（同2.7%減）、四半期純利益1億73百万円（同8.3%減）となりました。

なお、第18期通期の業績予想につきましては、当社グループを取り巻く生鮮青果物流通業界の環境が依然として不透明なため、2015年1月14日に公表しました予想数値を据え置いております。

当社グループは、第18期をこれまでの活動から持続的成長の「未来像」を築きあげる期と位置づけており、新システムのイーサポートリンクシステムVer.2の稼働準備、生鮮MDシステムの導入拡大、そして次世代の成長の核となる新規事業開発のためのプロジェクトを立ち上げ、活動を開始しています。

収益の基盤を作ってきた基幹ビジネスにおいては、収益の安定と拡大のため、これまでの運用を深堀し、新たなサービスの開発を進めています。また、大手小売・スーパーとその取引先各社にご利用いただいている生鮮MDシステムは、新たなサービスを開発し、顧客満足度の向上と生鮮流通の効率化に努めています。

当社が持っている、青果物の生産から販売までのバリューチェーンをシステムと業務代行で提供しているサービスは、今後変化する我が国の生鮮流通に活かせるものであると確信しており、未来へ向けた新たなサービス開発と顧客獲得に取り組んでいきます。

また、海外事業案件として取り組んでいる、生鮮流通システムのアセアン諸国への展開は、フィリピン共和国において、事業化へ向けた取り組みを行っており、現在その実証事業を行っています。

当社グループはこれからも、これまで培ってきました生鮮流通における強みを活かしながら、事業拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

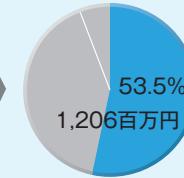


代表取締役社長  
堀内 信介

## セグメント別事業説明

### システム事業

売上高  
構成比



売上高  
推移

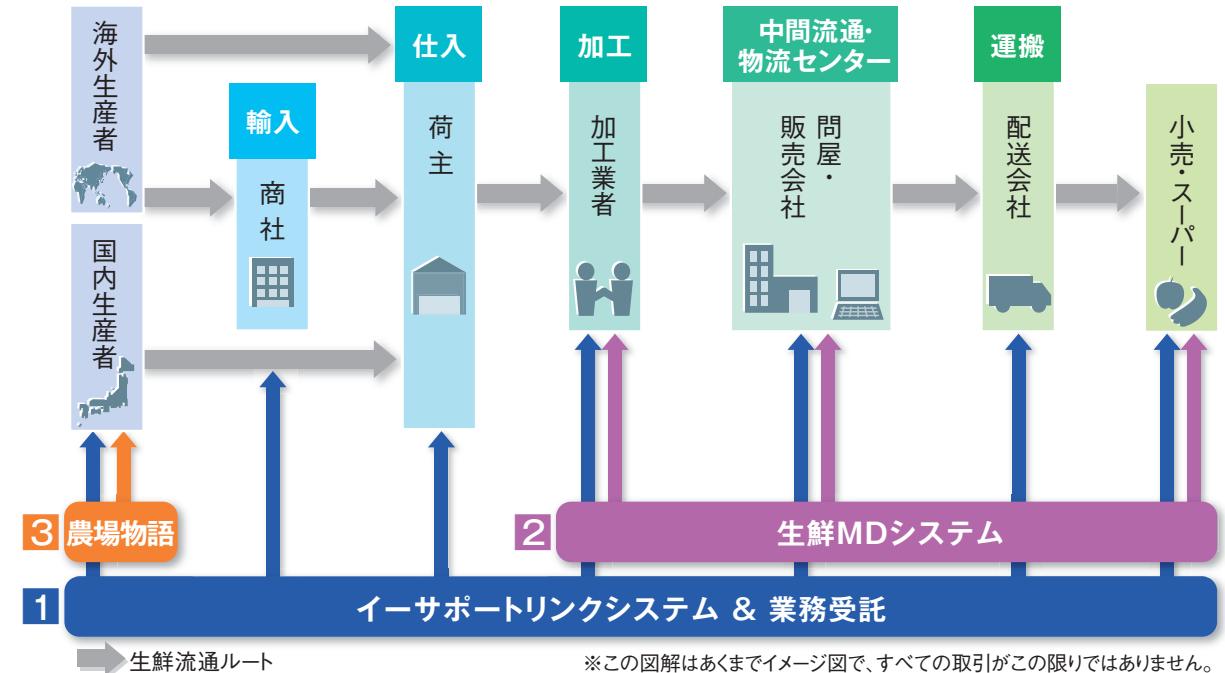
(単位: 百万円)



当社は、システムの構築で生鮮業界の流通工程の中に初めて【計画】という概念を持ち込み、「安定供給」と「ローコスト化」を可能にしました。流通全体をシステム上でコントロールすることによって、流通に携わるすべての人達が情報を共有できるため、流通過程の効率化を実現しています。ここで、当社の代表的な3つのシステムをご紹介します。

生鮮食品が店頭に並ぶまでには、生鮮流通に多くの人達が携わっています。

当社は、流通に携わるすべての人達にシステムと業務受託サービスを提供し、効率化に貢献しています。



1 イーサポートリンクシステム

サプライチェーンにおける流通情報管理システム

複雑な生鮮青果物の流通プロセスを改革するサプライチェーン・マネジメントに対応するシステムです。

主要クライアント企業が採用し、事業の基盤を確立しました。サプライチェーンをつかさどる各事業者が情報を共有することで、販売計画から実績状況までの情報を一元管理でき、流通過程の効率化や業務負担の軽減、コスト削減を実現します。さらには食の安全に大きく貢献するトレーサビリティ(商品の情報追跡)も容易にしています。

<主な取扱食材：バナナ、パイナップル、キウイをはじめとする輸入食材>

\*イーサポートリンクシステムは、これまでの専用回線を介したサービスからインターネットによるクラウドサービスに変わります。これにより、顧客の幅を広げていく考えです。(新バージョンは2015年11月期に稼働予定)



2 生鮮MDシステム

小売・スーパーの仕入担当者の戦略的な商品調達を支援するシステム

小売・スーパーと仕入先の受発注のやりとりをスムーズに行うことができるシステムです。

生鮮品の仕入先から店頭まで並ぶまでの情報をトータルで管理し、仕入れの全体像をリアルタイムで把握できるようになります。

これにより、販売状況に合わせた仕入れが可能となり、売れ残りや欠品を減少させることができるなど、商品調達のムダを最小限に抑えることができます。日々の発注、納品、返品といった情報をシステム上で瞬時に把握することができるので、データの活用方法で最適な売場作りのための商品調達戦略を組むことが可能となります。

<2015年5月末現在の導入数：

小売・スーパー(100社以上)、店舗(約2,500店舗)、仕入先企業(約1,000社)>

\*ITサービスマネジメント国際認証規格「ISO 20000」、情報セキュリティマネジメントシステム国際認証規格「ISO 27001」を取得しています。



3 農場物語

農産物生産者の生産履歴をサポートするシステム

農産物生産者の皆さんの、生産・販売に関わる日々の“困った”を解決するために作られたシステムです。

農産物への使用農薬を入力すると、農薬取締法に則ったチェックが自動的に行われ、農薬の誤使用を未然に防ぐことができます。

また、栽培記録が残るので、過去の栽培情報を知りたいときにすぐに引き出せ、次の世代へのノウハウ継承にも役立ちます。

少しでも多くの農産物生産者の皆さんにご利用いただけるよう、利便性を追求し、機能向上に取り組んでいます。

\*「農場物語」は、日本GAP協会の推奨システムです。

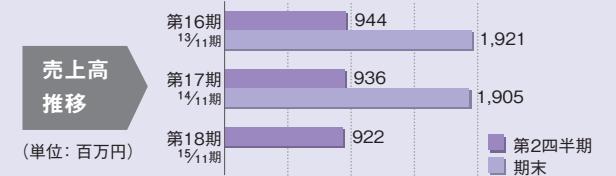


業務受託事業

売上高  
構成比



売上高  
推移



生鮮品の受発注から手配、入金の消し込みまでのオペレーション業務を、365日お客様に代わって行うのが当社の業務受託事業です。

単なるコールセンターと違い、生鮮流通を知り尽くしたスタッフが、リアルタイムな商・物流管理を実現しています。生鮮流通におけるすべての工程管理ができていますので、どの業種の人達からも業務を請け負うことができます。当社の業務受託を利用することで生産や商品開発といった本業(コアビジネス)に注力できるほか、作業工程の見直しや整理を行い、各工程で発生した“ムダ”な手間や時間、コストを削減します。



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第18期 (当第2四半期) 2015年5月31日 現在	第17期 (前第2四半期) 2014年5月31日 現在	第17期 (前期) 2014年11月30日 現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	2,999	2,929	3,203
固定資産	2,038	1,996	2,005
有形固定資産	376	420	378
無形固定資産	1,330	1,252	1,279
投資その他の資産	331	323	347
繰延資産	3	4	3
<b>資産合計</b>	<b>5,040</b>	<b>4,930</b>	<b>5,211</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	947	972	1,217
固定負債	849	985	934
<b>負債合計</b>	<b>1,796</b>	<b>1,958</b>	<b>2,151</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	3,289	2,967	3,112
資本金	2,721	2,721	2,721
資本剰余金	620	620	620
利益剰余金	△52	△375	△229
自己株式	△0	△0	△0
その他の包括利益累計額	△45	5	△52
<b>純資産合計</b>	<b>3,243</b>	<b>2,972</b>	<b>3,059</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,040</b>	<b>4,930</b>	<b>5,211</b>

財政状態に関する分析

資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて1億71百万円減少し、50億40百万円（前連結会計年度末比3.3%減）となりました。内訳としては、流動資産が29億99百万円（同6.4%減）、固定資産が20億38百万円（同1.6%増）、繰延資産が3百万円（同14.8%減）となりました。

流動資産の主な減少要因は、売掛金が23百万円増加した一方、現金及び預金が2億20百万円減少したことによるものです。

固定資産の主な増加要因は、ソフトウェア仮勘定が82百万円増加した一方、ソフトウェアが28百万円減少したことによるものです。

負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第18期 (当第2四半期累計) 自2014年12月1日 至2015年5月31日	第17期 (前第2四半期累計) 自2013年12月1日 至2014年5月31日	第17期 (前期) 自2013年12月1日 至2014年11月30日
売上高	2,254	2,184	4,437
売上原価	1,021	936	1,887
売上総利益	1,233	1,247	2,550
販売費及び一般管理費	901	891	1,860
<b>営業利益</b>	<b>331</b>	<b>356</b>	<b>690</b>
営業外収益	26	14	20
営業外費用	6	9	17
<b>経常利益</b>	<b>351</b>	<b>361</b>	<b>693</b>
特別利益	—	0	0
特別損失	1	0	122
税金等調整前四半期純利益	350	360	570
法人税等	177	172	235
<b>四半期純利益</b>	<b>173</b>	<b>188</b>	<b>334</b>

末と比べて3億55百万円減少し、17億96百万円（同16.5%減）となりました。内訳としては、流動負債が9億47百万円（同22.1%減）、固定負債が8億49百万円（同9.2%減）となりました。

流動負債の主な減少要因は、短期借入金が50百万円、未払法人税等が39百万円減少したことによるものです。

固定負債の主な減少要因は、社債が30百万円、長期借入金が59百万円減少したことによるものです。

純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて1億83百万円増加し、32億43百万円（同6.0%増）となりました。この結果、自己資本比率は64.4%となりました。その主な増加要因は、四半期純利益を1億73百万円計上したことによるものです。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第18期 (当第2四半期累計) 自2014年12月1日 至2015年5月31日	第17期 (前第2四半期累計) 自2013年12月1日 至2014年5月31日	第17期 (前期) 自2013年12月1日 至2014年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	81	98	587
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126	△151	△384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175	△306	△317
現金及び現金同等物の増減額	△220	△359	△114
現金及び現金同等物の期首残高	2,511	2,625	2,625
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,290	2,265	2,511

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	第18期 (当第2四半期累計) 自2014年12月1日 至2015年5月31日	第17期 (前第2四半期累計) 自2013年12月1日 至2014年5月31日	第17期 (前期) 自2013年12月1日 至2014年11月30日
少数株主損益調整前四半期純利益	173	188	334
その他有価証券評価差額金	4	3	3
退職給付に係る調整額	2	—	—
その他の包括利益合計	7	3	3
四半期包括利益	180	192	337
(内訳)			
親会社株主に係る四半期包括利益	180	192	337

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期連結会計期間末に比して24百万円増加し、22億90百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は81百万円（前年同期は98百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益を3億50百万円、減価償却費を68百万円計上したこと、売上債権の増加額を29百万円、法人税等の支払額を2億14百万円計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億26百万円（前年同期は1億51百万円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出1億59百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億75百万円（前年同期は3億6百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の純減額50百万円、長期借入金の返済による支出59百万円等によるものであります。

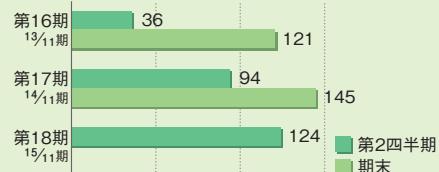
農産物販売事業

売上高  
構成比



売上高  
推移

(単位: 百万円)



農産物販売事業は、子会社：(株)農業支援の事業で、りんご事業を中心に展開し、受託販売と仕入販売を行っています。青森県弘前市の「岩木山りんご生産出荷組合」のりんごを中心に取り扱っています。生産者との連携強化および販路の拡大に努め、収益性の向上に努めています。

りんごとりんごジュースの  
通販サイトのご案内

“HAPPY HAPPY SHOP”  
(はっぴー はっぱ しょっぷ)

株主優待品としてご好評の青森県産  
「りんご生果」と「りんごジュース」が、  
通信販売で手軽にご購入いただけます。

りんご事業の一環として、りんごの通販サイトを  
運営しています。是非、ご利用ください。

通販サイトはこちらからご覧いただけます



- ・  で検索。
- ・ イーサポートリンク／農業支援のホームページにも  
バナーを貼り付けています。

お電話でもご注文を承ります！

フリーコール **0800-888-1565**  
(受付時間：月～金曜日 10：00～17：00 祝日を除く)  
取り扱い商品など、お電話でお問い合わせください。

りんご生果は、季節商材ため、美味しく提供できる期間が限られています。  
〔販売期間：9月中旬～3月下旬（在庫状況によります）品種によっても異なりますので、サイトをご覧ください。〕

りんごジュースは、一年を通して販売しています。

■ 全国送料無料（沖縄、一部離島除く）※お支払い方法により、手数料等がかかる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

(2015年5月31日現在)

会社概要

商号 イーサポートリンク株式会社  
(英字商号 E-SUPPORTLINK, Ltd.)  
本社所在地 東京都豊島区高田二丁目17番22号  
設立 1998年10月6日  
資本金 2,721百万円  
従業員 237名(連結) 231名(個別)

株式の状況

発行可能株式総数 10,700,000株  
発行済株式総数 4,424,800株  
株主総数 10,658名

役員

代表取締役社長 堀内 信介  
取締役 松丸 正明  
取締役 仲村 淳  
取締役 森田 和彦  
社外取締役 村井 勝  
社外取締役 下戸 章弘  
常勤監査役 伊藤 日出夫  
監査役 吉田 茂  
監査役 升田 和一

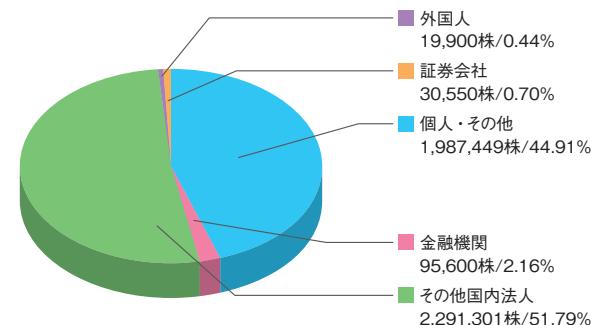
大株主一覧表

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
フレッシュMDホールディングス株式会社	1,201,200	27.14
株式会社ケーアイ・フレッシュアクセス	198,300	4.48
全日本ライン株式会社	195,600	4.42
ピー・エス・アセット・ホールディングス株式会社	188,300	4.25
株式会社上組	166,700	3.76
東洋埠頭株式会社	111,100	2.51
オリックス株式会社	111,100	2.51
株式会社フレッシュプロデュースドットコム	105,000	2.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	78,000	1.76
堀内達生	70,000	1.58

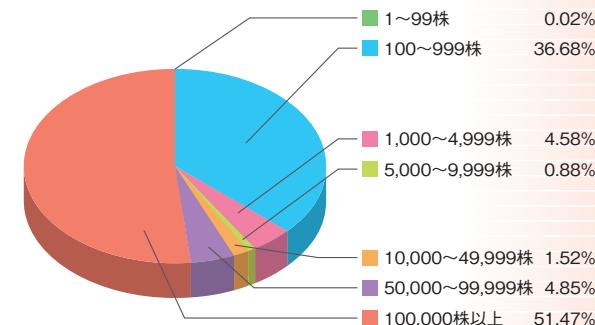
※筆頭株主であるフレッシュMDホールディングス株式会社は、商号変更により、2015年7月1日付で「株式会社ファーマインド」に変更しています。

株式分布状況

■ 所有者別



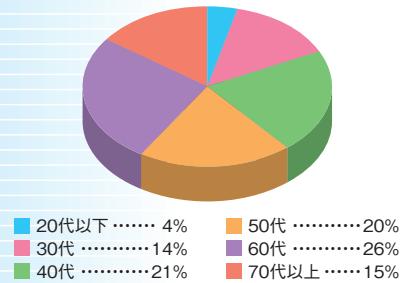
■ 所有株式数別



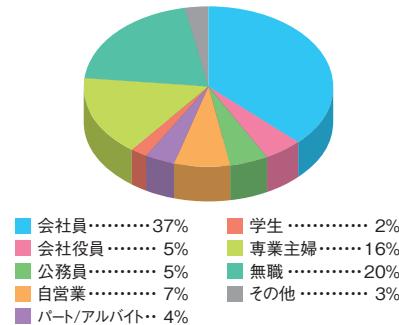
株主さまアンケート結果報告

前回、第17期「株主通信」の送付に際して『株主さまアンケート』を同封し、当社の事業や株式に対する意識調査を実施させていただきました。アンケートには、約4,800名の皆様からご協力いただき、返信率56%という高い関心をお寄せくださいましたこと、心より御礼申し上げます。ここにアンケートの結果、ご意見、ご要望につきましてご報告いたします。

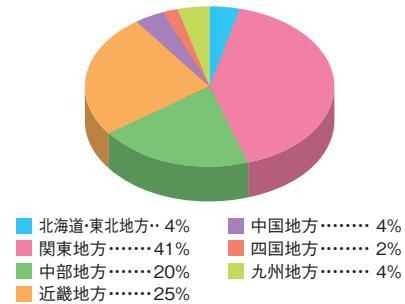
■ 年齢



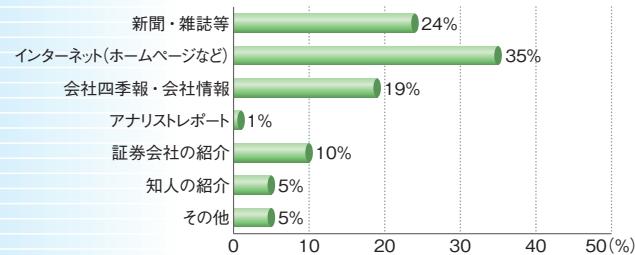
■ 職業



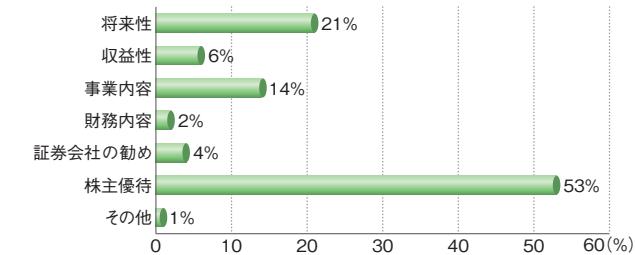
■ 居住地



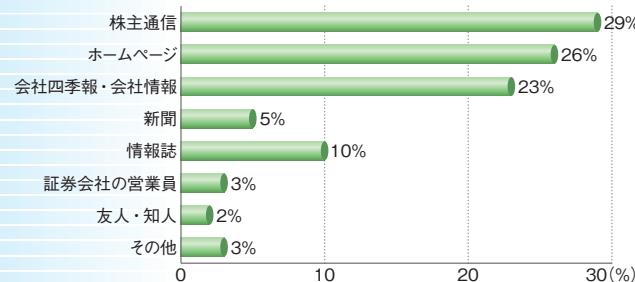
■ 当社をどのようにしてお知りになりましたか？



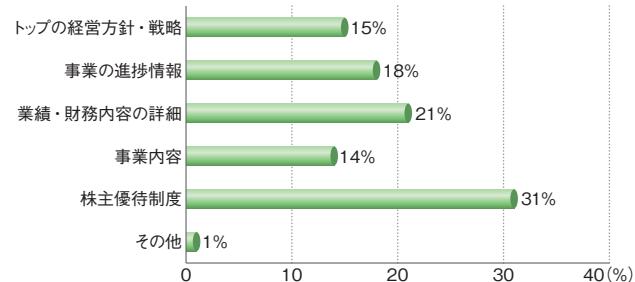
■ あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか？ (複数回答)



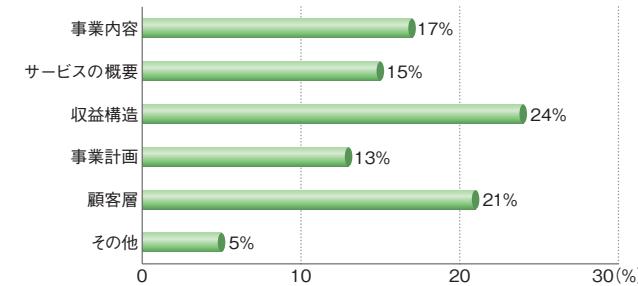
■ 当社に関する情報の入手手段は何ですか？ (複数回答)



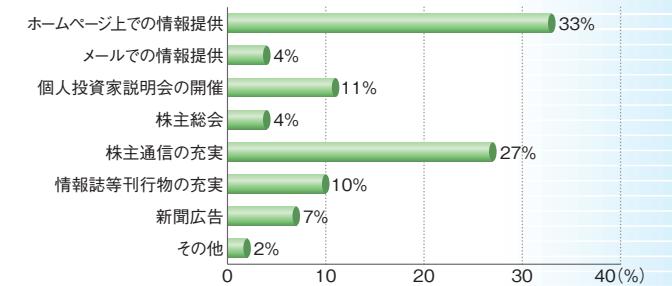
■ 当社について知りたいことは何ですか？ (複数回答)



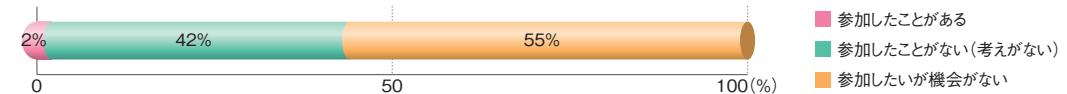
■ 当社について、わかりにくいと感じるところは何ですか？ (複数回答)



■ 当社のIR活動等に充実を求めるものは何ですか？ (複数回答)



■ 当社の個人投資家説明会に参加されたことはありますか？



■ フリーコメント

今回、約2,300件のコメントをいただきました。この中から代表的なものをピックアップしてご紹介します。

- 時流を早めにつかみ、攻めの柔軟な事業を展開してほしい。
- 通販サイト(ハッピーハッピーショップ)を更に充実させてほしいかですか。
- 事業の内容が分かりづらいので、図などを用いてわかりやすく説明した方がいいと思う。
- ホームページは、親しみやすい。
- 会社のPRなど、情報発信をこまめにしてほしい。
- 個人投資家向けのIR活動を、多く行ってほしい。
- 配当の実施を期待しています。
- 引き続き、充実した優待品を望みます。
- 優待品の「リンゴジュース」は、味のやさしさにビックリしました。
- 美味しいりんごとリンゴジュースが届くのが、すごく嬉しい。
- 農業のIT化は拡大していくと思うので、頑張してほしい。
- 農産物にかかわっている事と、農業を応援している姿勢が好きです。

当社では、株主の皆様からの貴重なご意見を今後の経営やIR活動に反映させるべく努め、企業価値の向上に取り組んでまいります。『株主さまアンケート』は、期末のみ実施いたします。次回の「株主通信」に同封いたしますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

IR活動報告

当社は、経営の透明性を高めるため、情報開示をはじめ投資家向け説明会を定期的に行っています。

- 2015年1月28日(水) 機関投資家向け「2014年11月期決算説明会」を開催
- 2015年7月23日(木) 機関投資家向け「2015年11月期第2四半期決算説明会」を開催

説明会資料は、ホームページ～「株主・投資家情報」の「IRライブラリー」に掲載しておりますので、ご覧ください。

## 株主メモ

事業年度	毎年12月1日～翌年11月30日
定時株主総会	毎年2月下旬
基準日	11月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引引きの証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続 お取り扱い店 (住所変更等)		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の 店舗)でもお取り扱いいたします。  みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店*

\*：トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。

**公告方法** 電子公告(当社ホームページ)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

### 住所変更手続きについて

当社株式関係書類及び株主優待等ご送付にあたり、ご引越し等により住所が変更となられている場合、お手元に届かないことがございます。住所が変更となる際は、大変お手数ではございますが、なるべく早め当社株式をお持ちの証券会社にて住所変更手続きをお願いいたします。

# イーサポートリンク株式会社

〒171-0033 東京都豊島区高田二丁目17番22号  
TEL：03-5979-0666 FAX：03-5979-0667

## ホームページのご案内

当社では、「株主通信」ではお伝えしきれない情報をホームページにて開示しています。株主・投資家の皆様に向けて、決算情報、決算説明資料、PR情報など、タイムリーな情報提供を心がけております。ぜひ、ご覧ください。

The screenshot shows the homepage of E-Support Link Co., Ltd. The top navigation bar includes links for Home, Branch/Service Areas, Company Profile, Business, Investor Relations, and Recruits. The main content area features a banner with the slogan "From producers to consumers, we aim to support you as your best partner!" Below this are sections for "News & Topics" (with a list of recent news items), "IR News", "Branch/Service Areas" (listing various services like stock trading, foreign exchange, and commodity trading), and "Employment" (listing various roles like sales, IT, and administrative). The footer contains contact information and copyright notices.